

# 桜の庄兵衛

information vol.55

4月11日(日) 昼の部 13:00開演(12:30開場)  
夕の部 16:30開演(16:00開場)

「今は昔、ヘンデルという作曲家がフルートと鍵盤楽器のためのすてきな曲を書きました。その曲は…」

さて、この文章からどのような楽器を思いおこされましたか?

銀色に輝くフルートと黒いグランドピアノ?

いえいえ、この二つの楽器はバッハやヘンデルの時代には、今とはまったく異なっていました。その頃は木製のフルートと、弦をはじいて音を出すチェンバロだったのです。二つの楽器は共に、フランスやドイツ、イタリアなどの宮廷を中心として、たいへんもてはやされていました。

昔のフルートとチェンバロVS今のフルートとピアノ。

これらを目の前で聴きくらべ、音楽の歴史を肌で感じてみてください。

300年の時を経てここに行われる、夢の競演/共演!

## 出演

太田 里子 フルート&バロックフルート

鷺野 彰子 ピアノ

三島かおる チェンバロ

## プログラム

J.S.バッハ《フランス組曲 第5番》

A.ヴィヴァルディ《四季》

W.A.モーツァルト《トルコ行進曲》

E.H.グリーグ《抒情小曲集》より《春に寄す》《蝶々》

F.プーランク《フルートとピアノのためのソナタ》

ほか

## プロフィール

太田 里子

相愛大学音楽学部卒業。同大学研究科修了。  
第6回ソリストコンテスト部門優秀賞受賞。昭和音楽大学大学院修士課程音楽研究科を修了。

2002年プリュージュ国際古楽コンクール、セミファイナリスト。  
フルートを平尾多美納、伊藤公一、西田直孝、有田正広の各氏に、バロックフルートとその他の時代楽器を有田正広、M.アンタイの各氏に師事。

色々な時代のフルートを用いてソロや室内楽を行うほか、オリジナル楽器によるオーケストラのコンサート、レコーディングにも参加している。

鷺野 彰子

大阪府出身。大阪府立北野高校卒業。  
大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コース卒業後、ニューヨーク州立大学パーチェス・カレッジ大学院に授業料半額免除生として在籍、修了。その後、オランダに渡り、王立デン・ハーグ音楽院でフォルテピアノ科卒業、ピアノ科・室内楽科修了。大阪大学大学院文学研究科(音楽学・演劇学)、京都市立芸術大学大学院音楽研究科研究生。

ピアノを、上野真、D.クラウス、P.コメン、坂本千鶴子、C.ソアレス、S.ブラウン、A.ロトーの各氏に(順不同)、室内楽及び伴奏法をH.アイザックス氏に、フォルテピアノをS.ホッホランド氏に師事。1998年第2回国際ピアノ・コンクール第4位入賞。北オランダ放送に出演。

現在は東京と大阪を中心に演奏会を行っている。

三島かおる

東京学芸大学大学院修士課程修了後、ケルン大学、大阪大学大学院文学研究科で音楽学専攻、博士課程修了。文学博士。専門は西洋音楽史、演奏論など。現在ソロ奏者また通奏低音奏者として活動中。

チェンバロを亀谷喜久子氏に師事、ヨーロッパ各地のマスター・コースに参加・修了、Ch.ファー、K.フェルヘルスト、S.ヘンストラ各氏らのレッスンを受ける。

京都市立芸術大学、同志社女子大学、甲南女子大学、神戸山手女子高等学校、各非常勤講師。

# 野に山に風光る日の コンサート



主催 桜の庄兵衛ギャラリー委員会

桜の庄兵衛ギャラリーでニューヨークのジャズ!これは行かねばとこのライブのことを知ったときすぐ決めていました。

早間美紀さんのピアノ、藤井美智さんのトランペット、荒玉哲朗さんのベース。関西とニューヨークの競演、ということでも楽しみにしておりました。

この日、2月初旬にしては暖かく過ごしやすかったです。お庭でお迎えてくれるお花、室内、人々、全てが気持ちのいい最高の環境。いつもこのお屋敷でヨガをさせていただいている自分がこうして大好きな場所で大好きなジャズを聴けるなんて、と幸運の上に幸運すぎる、と感動しつつ、客席側から座って見る風景が新鮮で、お庭も見えて、陽射しの変化、窓は閉まっても感じる春の風。人は何かを見るとき、その角度や視点を変えると世界が変わるのだなあ とそんなことを思いながら開始を待ちました。

1曲目はピアノとベースのデュオ。続けてトランペットも加わり一気に華やきニューヨークに来たかのような気分になっていきました。ふと昔旅行したところを思い出しよう随分変わってしまったでしょうが、街並みや香りが蘇りました。

“You don't know what love is”では、バラード曲をラテンにアレンジしてありました。早間美紀さんのお住まいがマンハッタンの中でもラテン音楽が溢れている場所ということで、ラテン音楽が身体に染み付いたようだとおっしゃっていました。「環境ってすごいですね」と笑顔で話される美紀さん。この頃から場も少し和み始めていたように感じます。美紀さんのピアノは女性らしい中、非常に力強く、芯を感じさせられます。同じ女性として、しなやかな強さに魅力を感じます。

と、ここでソロピアノが始まりました。デューク・エリントンの“Sophisticated Lady”洗練された都会的な女性、まさに今感じたことが通じたかのようなこの流れに更に惹き付けられました。ここではしっかりと柔らかな感性が滲み出るピアノの音色にうっとり。

この後、ニューヨークから一緒に来られてツアーをされているというトランペットの男性ピタリーさんが登場。ここからトランペットという珍しいセッションが聴けるというのでワクワクしました。始まった途端、驚きでした。何がという、そのパワーです。2本のトランペットが絡み合い、それが絶妙なのです。会話そのもの。

曲は“On the sunny side of the street”耳馴染みのある有名な曲で、客席側も乗り始めた様子。

あっという間にここで1部は終了。CDの紹介などがありましたが、忘れていた、とおちゃめに笑われる美紀さんは、話し始めるととてもかわいらしい。



休憩に入ると、チョコレート菓子とお茶が1人ずつ配られ、ここでも桜の庄兵衛ギャラリーに関わる皆様の心を感じました。素晴らしい人が集まる場。奥野夫妻のお人柄に皆さん惹かれて自然に集まられるのでしょう。あったかい気持ちになりました。

しばらくして2部開始。2部はスピード感のあるスタートで、「スイングしなげりや意味がない」でピタリーさんはカップを使って演奏。こんなに間近でかぶりつくかのような距離で演奏されるのを見ると、すごい迫力です。

その後はガラッと雰囲気が変わり、藤井美智さんフューチャーの“Star dust”。

ちょうど陽が沈んでいった時間帯。気がつけば夜空には星が?大人の時間になっていきました。お客様も奏者も力の抜けたいい感じになってきて、ここでサンバ調の曲。春、という季節を思わせてく

れる演奏に日本の四季をも感じ、あ、ここは日本だ。しかもこの重厚な日本家屋。和洋の融合って素敵、とあらためて思いました。この場所だからこそ、こういう響きになるのだなと。

次に奏でられたのは、美紀さんのオリジナル曲“Dismissed”。彼女曰く、ニューヨークでの辛い経験から生まれた曲だとか。目を閉じて聴いてみました。

せつない感じ。置き去りにされたという意味もあるDismissd。しんみりとした夜にもう一度聴いてみたいです。

最後は4人で掛け合い厚みのあるピアノと、真っ直ぐ響くトランペット、絡み合いながら距離を保ち、バランスよく支えるベースが重なったサウンドで、アンコールまで一気に盛り上がりました。“Mack the knife”会場全体が手拍子!ゴキゲンなサウンドで、みんな笑顔でした。音も柔らかく、みんなと溶け合っていました。

桜の庄兵衛ギャラリーは音楽家の皆様にとっても素晴らしい環境であることを演奏者の皆様もおっしゃっていました。きっとあの場にいた誰もが共感していたことでしょう。音楽を身体いっぱい浴びて、素敵なお人達に囲まれて、とびきり幸せな時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました!

●野に山に風光る日のコンサート お申込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270 (奥野) まで

参加費

¥2,500

※当日、会場受付にてお支払いください。

定員

90名・全席自由席

※定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めにご予約ください。

会場

桜の庄兵衛ギャラリー

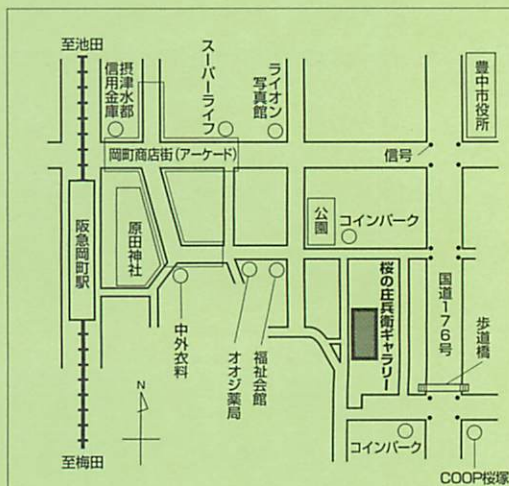
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

ハガキでのお申込み

※下記内容をご記入のうえ「桜の庄兵衛ギャラリー」までお送りください。

- ご氏名(ふりがな)
- ご住所(郵便番号)
- お電話番号
- ご希望の時間帯 昼の部または夕の部
- ご参加人数(計○名)
- グループ全員のご氏名(ふりがな)

宛先  
〒561-0881 豊中市中桜塚2-30-35  
桜の庄兵衛ギャラリー



Eメールでのお申込み

※ハガキでのお申込と同じ内容を送信ください。

e-mail syoubei@tcct.zaq.ne.jp

TEL・FAXでのお申込み

※FAXでお申込の方は別紙にご記入のうえ送信ください。

TEL・FAX 06-6852-3270